



河北医科大学

Hebei Medical University



- 学部学生 9,781人（本科生のみ）
 - 大学院生 3,431人
 - 教職員 11,186人
 - 留学生 約300人
- ホームページ <http://www.hebmu.edu.cn/>
 交流協定締結年月日：2001年11月27日 主管学部：医学部



<http://www.hebmu.edu.cn/>より抜粋

国際交流の特色

河北医科大学は1894年に端を発し、他大学との統合により1995年5月に現在の大学となっている。河北省石家庄市に位置し、昔から東西の交通の要衝としても知られている。大学の構成は、学部14、大学院博士課程42、修士課程68のコースである。学生数は本科生10,491人、留学生400人（日本、韓国等）である。教職員は12,443人を超え学生の指導にあたっている。さらに、河北医科大学は5箇所の附属病院を有し、非常に高水準な教育・研究・診療がなされている。また、日本をはじめ韓国、アメリカ、フランス、イギリス、パキスタン等の海外の大学と共同研究を活発に行っている。

交流実績（平成26年度～28年度）

年度	H26	H27	H28
受入・派遣			
学生受入	3	13	13
学生派遣	0	5	8
研究者・職員受入	1	4	1
研究者・職員派遣	0	0	11



教員からの声

河北医科大学は大きな規模の大学で、基礎医学院、口腔医学院、成人教育学院、薬学院、公共衛生学院、衛生技術学院、臨床医学院からなる総合的な医学教育機関です。さらに、大学には第1から第6までの附属病院があり、非常に充実した臨床教育が行われています。特にこの中でも第4附属病院における食道がんの症例数は世界に類がないほど多く、諸外国の大学と共同研究が進められています。

本学の医学科博士課程、看護学科修士課程を修了した留学生のほとんどは自国の大学、病院で活躍しています。本年度は、本学医学部医学科学生5名と教員2名が派遣されました。毎年河北医科大学から短期間10-15名ほどの学生が本学を訪問しています。今後双方の学生交流がさらに推進されることを期待しています。

医学部教授 三宅 実

学生からの声

私は、2011年に河北医科大学臨床学院を卒業した後、2013年に留学生として来日しました。現在、香川大学医学系研究科薬理学講座に所属して2年になります。来日当初の生活は習慣や言葉の違いから大変苦労をしましたが、研究室の先生方の協力もあり、日本の生活にも比較的早く慣れることが出来ました。薬理学講座 Protease-activated receptor-1 antagonist protects the podocyte injury in mice. これらの研究は世界レベルであり、私はこの研究室で勉強できる事を光栄に思っています。この3年間で、私は多く動物モデルを確立し、細胞実験、動物実験技術を修得しました。今、私の日本での研究生活はとても充実しています。

薬理学講座 大学院生 Guan Yu